

2017年度 事業報告

2017年度内に実施した事業

第1: 駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む）
における観光振興のための活動に対する支援事業

1. 学術的調査・研究支援事業

2. 観光交流促進支援事業

第2: 地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等
に対する支援事業

2017年度内に実施した事業

第1: 駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む） における観光振興のための活動に対する支援事業

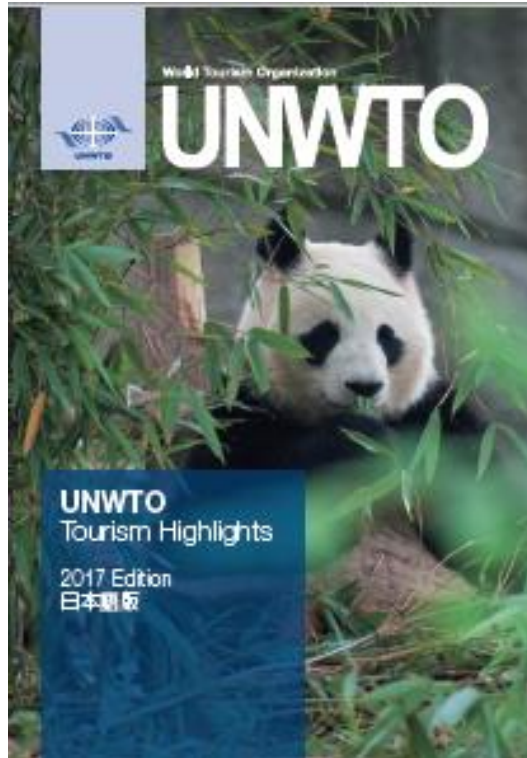
1. 学術的調査・研究支援事業

2. 観光交流促進支援事業

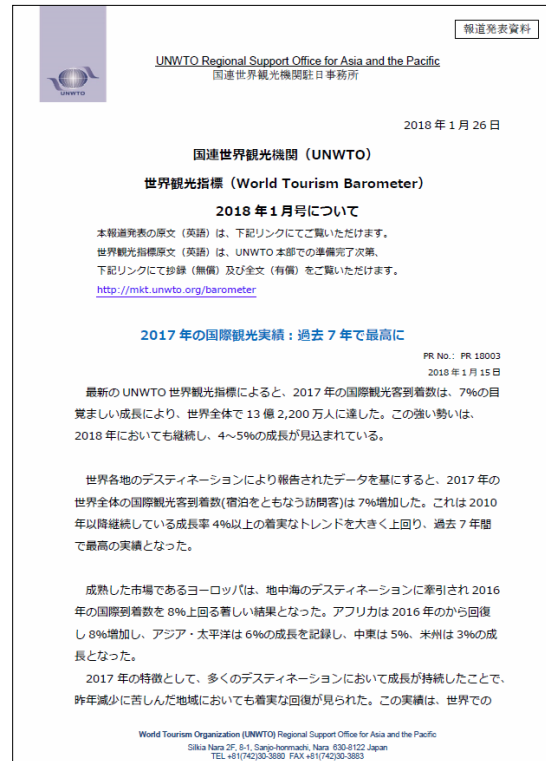
第2: 地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等 に対する支援事業

第1-1-(2) UNWTO出版物の翻訳刊行

①日本語での情報発信



UNWTOツーリズム・ハイライト
(UNWTO Tourism Highlights)
冊子2,000部発行 / データ配信



UNWTO世界観光指標
(World Tourism Barometer)
データ配信



責任ある旅行者になるためのヒント
(Tips for a Responsible Traveller)
冊子3,500部発行 / データ配信

第1-1-(2) UNWTO出版物の翻訳刊行

UNWTOツーリズム・ハイライト日本語版を本部ウェブサイト「e LIBRARY」よりダウンロード

本部サイト



Home > UNWTO Tourism Highlights, 2017 Edition 日本語版



UNWTO Tourism Highlights, 2017 Edition 日本語版

Published: November 2017

eISBN: 978-92-844-1929-6



Print Edition Inquiries

Abstract:

「UNWTO Tourism Highlights」は、発行年の前年1年間の国際観光の動向・世界観光機関（UNWTO）の出版物で、UNWTOの統計・動向・政策部門で作成したものです。

Download this book (PDF 2.81MB)

ダウンロード(無料)

PDFで印刷

国際観光動向/観光客到着数 国際観光収入/長期動向等

観光：発見、開発、享受への方

- 世界では、これまで以上に観光が経済・社会・文化の発展に貢献している。観光は、世界最大の雇用創出者であり、観光は、世界最大の貿易品である。
- 観光は、世界の経済・社会・文化の発展に貢献している。観光は、世界最大の雇用創出者であり、観光は、世界最大の貿易品である。
- アジア・太平洋地域の観光客は、世界の観光客の約60%を占めている。アジア・太平洋地域の観光客は、世界の観光客の約60%を占めている。
- 観光は、世界の経済・社会・文化の発展に貢献している。観光は、世界最大の雇用創出者であり、観光は、世界最大の貿易品である。
- 観光は、世界の経済・社会・文化の発展に貢献している。観光は、世界最大の雇用創出者であり、観光は、世界最大の貿易品である。

2016年の国際観光



国際観光客到着数

7年連続の成長率
2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。

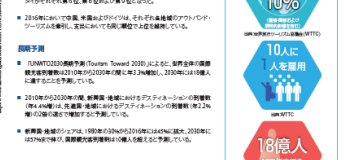
観光客の成長率
2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。

地域	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年	1997年	1996年	1995年	1994年	1993年	1992年	1991年	1990年
世界	1,200	1,120	1,050	980	920	860	800	740	680	620	560	500	440	380	320	260	200	140	80	20	10	5	2	1	0	0	0
ヨーロッパ	3,000	2,800	2,600	2,400	2,200	2,000	1,800	1,600	1,400	1,200	1,000	800	600	400	200	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0
アジア・太平洋	2,000	1,800	1,600	1,400	1,200	1,000	800	600	400	200	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメリカ	1,000	900	800	700	600	500	400	300	200	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東	500	450	400	350	300	250	200	150	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ	300	250	200	150	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オセアニア	100	80	60	40	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2016年の国際観光—主要な動向と課題

- 2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。
- 2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。
- 2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。
- 2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。
- 2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。

観光客の到着数



国際観光収入

観光は世界第三の輸出部門
観光は世界第三の輸出部門である。観光は、世界最大の雇用創出者であり、観光は、世界最大の貿易品である。

観光客の成長率
2016年の国際観光客到着数は、前年比7.2%増加した。これは、2015年の国際観光客到着数が、前年比7.1%増加したことに続くものである。

地域	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年	1997年	1996年	1995年	1994年	1993年	1992年	1991年	1990年
世界	1,200	1,120	1,050	980	920	860	800	740	680	620	560	500	440	380	320	260	200	140	80	20	10	5	2	1	0	0	0
ヨーロッパ	3,000	2,800	2,600	2,400	2,200	2,000	1,800	1,600	1,400	1,200	1,000	800	600	400	200	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0
アジア・太平洋	2,000	1,800	1,600	1,400	1,200	1,000	800	600	400	200	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメリカ	1,000	900	800	700	600	500	400	300	200	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東	500	450	400	350	300	250	200	150	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ	300	250	200	150	100	50	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オセアニア	100	80	60	40	20	10	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第1-1-(2)-③ 世界観光倫理憲章の周知

5月27日(土)、28日(日))
関空旅博2017 UNWTOブースにて

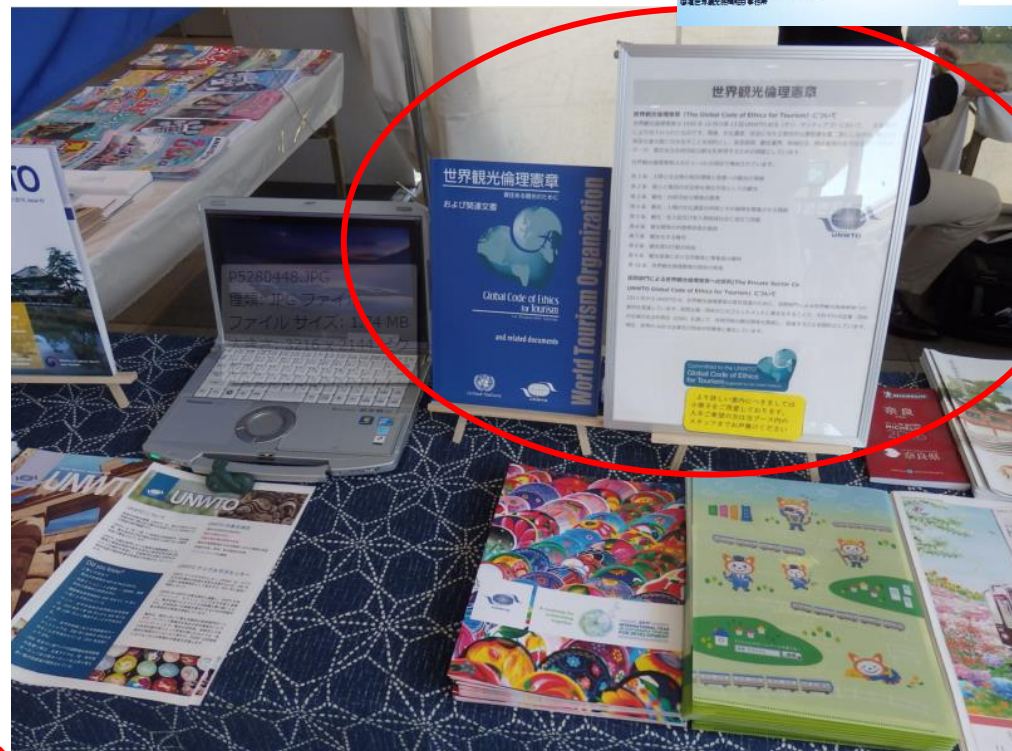
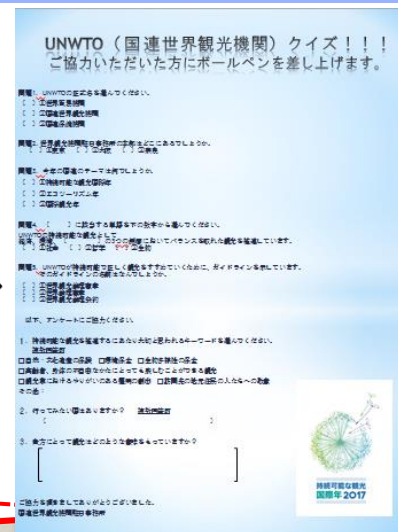
来場者へのアンケートで
認知度の調査も実施

憲章の紹介・冊子の配布

《ブース来客数述べ600名に対して》

以下の実施事業内容にも関連
第1-2-(4)-④ 関空旅博2017への出展
第2-4 APTEC賛助会員の宣伝の
機会の提供

**APTEC賛助会員の事業内容や商品を
紹介するパンフレットをブースで来場者に配布**



2017年度内に実施した事業

第1: 駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む） における観光振興のための活動に対する支援事業

1. 学術的調査・研究支援事業

2. 観光交流促進支援事業

第2: 地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等 に対する支援事業

第29回U N W T O 東アジア太平洋地域及び南アジア地域合同委員会



危機コミュニケーションに
関する地域フォーラムを
同時開催

地域フォーラムも含めて
約20カ国から約300名が参加

開催日:平成29年5月15日～17日
場 所:バングラデシュ
チッタゴン



国連世界観光機関駐日事務所
福田副代表より活動報告

第22回UNWTO総会



ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏を
次期事務局長に選出

開催日: 平成29年9月11日～15日
場 所: 中国 成都

130カ国以上のUNWTO加盟国
賛助会員等から1,300名以上が
参加

持続可能な観光開発のすべての
利害関係者の責任を網羅する
「観光倫理憲章」の条約化を承認



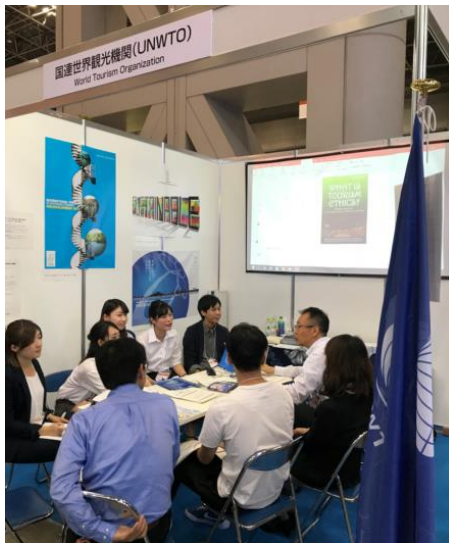
ツーリズムEXPOジャパン2017

UNWTOブースを設けて、観光を学ぶ 学生に向けてのセミナーを実施

開催日：平成29年9月22日～24日

場 所：東京（東京ビックサイト展示棟）

講師派遣協力：JNTO / JATA / 全日本空輸 / 京都大学
受講学生：京都大学 / 和歌山大学 / 東洋大学
運営協力：和歌山大学 観光学部
全体コーディネート：UNWTO専任アドバイザー 亀山氏



UNWTOス・ジン部長がブース訪問



駐日事務所本保代表がブース訪問

ツーリズムEXPOジャパン2017

第3回ジャパン・ツーリズム・アワード UNWTO部門賞表彰 開催日：平成29年9月21日

The Japan Tourism Award for Responsible Tourism in collaboration with UNWTO

UNWTO部門賞

UNWTO部門賞

全国産業観光推進協議会

「産業」が「観光」になる
～全国産業観光推進協議会の取組み～

●選考ポイント

我が国における消費者の観光に対する価値観の多様化により、新たに地域の魅力をじっくりと味わう本物志向の観光が求められるようになった。その中で、全国産業観光推進協議会は工業のみならず農林水産業、サービス業など地域の産業を観光素材として消費者に提供することで交流人口を拡大することを目的に普及活動を中心とした事業を展開しており、観光活動としての産業観光を定着、かつ持続的な取組みとしていることが評価された。

「UNWTO部門賞」とは

世界観光機関(World Tourism Organization: UNWTO)は、2003年の第58回国連総会において承認された国連の専門機関であり、日本を含む約160か国が加盟する観光分野における世界最大の国際機関として、観光の振興・発展を活動目的とし、様々な事業を実施しています。

世界観光倫理憲章は世界の環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光産業の発展を最大限に引き出すことを目的としてUNWTO総会(1999年)で採択された規範であり、この普及および実施活動はUNWTOが実施する最も重要な事業の一つとされています。

観光庁の主導により、2014年9月に日本の主要な観光産業の企業・団体が世界観光倫理憲章に署名しました。これを受け、ツーリズムEXPOジャパン組織委員会は、世界で初めて当観光倫理憲章の理解と推進、ならびに観光産業における新しい価値創造を目的とする顕彰制度を設け、責任ある観光産業の持続的な発展に回ることとしました。

参考：UNWTO世界観光倫理憲章(英語)
<http://ethics.unwto.org/en/content/global-code-ethics-tourism>

▲「大人の社会系ツアー」宇都宮産伊佐セメント工場石炭鉱山

▲産業観光ワークショップ in 真露 シンポジウム・視察ツアー

UNWTO
in collaboration with

2017
INTERNATIONAL YEAR
OF SUSTAINABLE TOURISM
FOR DEVELOPMENT

世界観光倫理憲章の理念に則った優秀な取組を行っている団体を表彰
※第1-2-(3) 観光倫理憲章普及・促進事業



UNWTOアジア太平洋部
ス・ジン部長より授与



各賞審査委員長：
国連世界観光機関駐日事務所
本保代表

特別講演会「持続可能な観光国際年～Sustainable Tourismを目指して」

開催日：平成29年9月22日
場 所：東京（東洋大学）

特別講演会
「持続可能な観光国際年 -Sustainable Tourismを目指して-」
International Year of Sustainable Tourism for Development
- Aiming Toward Sustainable Tourism -

事前申し込み不要・参加費無料

2017年の国際年のテーマは「持続可能な観光国際年」です。
日本の2016年のインバウンド数は2,400万人となり、2020年には4,000万人の訪日客を目指しています。世界の観光客数は2016年は12億人、2020年には14億人になると予測されており、人々の移動は今後もさらに活発になることが予測されています。そこで、企業及び観光客、観光に携わる全ての人々が、観光における環境や社会への影響について考慮し、責任ある持続可能な観光のために行動を起こしていくことが必要です。

この特別講演会は国際年の前哨戦の一環として開催するもので、持続可能な観光国際年特別大使のマイケル・フレンゼル氏より国際年の意義及び持続可能な観光と健全な企業の実現について、グレアム・ミラー氏からは、グローバルな視点から持続可能な観光についてお話しいただき、持続可能な観光の意義及び重要性についての理解を深め、具体的な行動について考えます。

12月17日
日時：9月22日(金)
14:00-16:00
(開場：13:30～)
会場：東洋大学白山キャンパス
井上円了ホール

主催者挨拶：国連世界観光機関駐日事務所 代表 本保 秀明
：東洋大学
来賓挨拶：国土交通省観光庁 次長 水崎 智広
持続可能な観光国際年の紹介：徳京（ス・ジン）
UNWTO 総会・執行理事会担当部長
UNWTO アジア太平洋地域部長

ゲストスピーカー

「持続可能な観光国際年と企業の健全な発展について」
持続可能な観光国際年特別大使
Dr. Michael Frenzel (マイケル・フレンゼル氏)
ドイツ観光産業連合会長、世界観光大平TUI AGの会長、世界の観光関連企業で構成されているFITO(世界旅行フォーラム協議会)の創設者兼代表、企業における環境、社会への影響を考慮した持続可能な観光の推進に努める。

「持続可能な観光及び世界の事例と国際的なトレンドについて」
東洋大学 特別主幹教授 国際観光学研究所 所長 徳京（ス・ジン）氏
WTC (Tourism for Tomorrow Award) 審査委員長 英国リール大学 文学・人文学部学部長
Prof. Graham Miller (グレアム・ミラー氏)
持続可能な観光を専門とする、持続可能な目的の持続方法、アクセスブル（6R）アプローチ、ツーリズムの発展、ヨーロッパにおけるツーリズムの6Rアプローチなど数多くの研究プロジェクトに従事している。

※どなたでも参加いただけます。事前申し込みは不要ですのでそのまゝ会場にお越しください。
※ゲストスピーカーおよびスジン部長からの発言は英語で行われます。通訳はありません。

主催：国連世界観光機関駐日事務所
共催：東洋大学 国際観光学部
後援（予定）：国土交通省観光庁・日本近畿観光（JNTO）
国立大学法人 東洋大学・京都大学
公益社団法人日本観光振興協会（JTTA）
一般財団法人日本旅行業協会（JATA）
ツーリズムEXPOジャパン推進室

お問合せ先
国連世界観光機関駐日事務所
〒100-8302 東京都千代田区三橋本町8番1号5F 国際観光部2階
E-mail: info@unwto-ap.org
電話: 0742-30-3880



学生・教員339名
一般30名（自治体、民間企業等）
合計369名の参加



左側より
UNWTO ス・ジン部長
グレアム・ミラー氏
マイケル・フレンゼル氏
駐日事務所 本保代表

雪と文化の世界観光会議 in 山形

2/1 歓迎レセプション



開催日：平成30年2月1日～3日
場 所：山形県・山形市

2/2 本会議

29カ国 約300名の参加



2/3 商談会



雪と文化の世界観光会議 in 山形

この会議を報じる新聞記事

山形新聞

冬・雪は東北の強み

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

誘客策を幅広く議論

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

国連世界観光会議 in 山形

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

UNWTO International Conference on Tourism and Snow

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

名品に囲まれ弾む交流

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

読売新聞

世界観光会議始まる

山形「雪と文化」テーマに 読売

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

山形の人、雪を楽しんで

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

朝日新聞

「山形の人、雪を楽しんで」

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

「個人的な文化体験 訴え」

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

朝日新聞

「地方にこそ可能性」

国連世界観光会議に30人

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

持続可能な経済成長めざす

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

国連観光会議が開幕

国連観光会議が開幕

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

毎日新聞

国連世界観光会議（UNWTO）が山形市で開かれ、山形市・山形国際交流プラザで開かれた。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。山形市市長の挨拶で始まった。

ガストロノミーツーリズム in Japan



国、自治体、民間企業、
学術機関、メディア等
約300名参加

パネルディスカッション



パネリスト：
奈良県 荒井知事
気仙沼商工会議所 菅原会頭
天領酒造 上野田社長
UNWTO ペルドモ部長

モデレーター：
ANA総合研究所
小川会長



入場無料

ガストロノミーツーリズム in Japan シンポジウムの開催のご案内

～ガストロノミーツーリズムで食文化を守り・育て、そして地域を元気に～

国連世界観光機関（UNWTO）の提唱するガストロノミーツーリズムの推進は、我が国における訪日外国人の地方への誘客、観光による地方創生への大きな推進力になります。このたびはUNWTOと結ぶるなび、日本観光振興協会にて我が国のガストロノミーツーリズムの共同調査を行いました。これを機にガストロノミーツーリズムへの理解を深めていただくと同時に地域活性化へのヒントをご提供します。

■ 開催概要

開催日時：2018年2月5日（月）13時30分～17時20分（受付開始13:00）
開催場所：東京・青山 国連大学「ウ・タントホール」
アクセス：地下鉄表参道駅より徒歩5分、各線渋谷駅より徒歩8分
主催：（公）日本観光振興協会
共催：国連世界観光機関駐日事務所 結ぶるなび（株）ぐるなび
協力：ANA 全日本空輸（株）
参加対象：自治体、企業、大学、観光、飲食、農産関係者等
募集人員：360名（申込み先着順）※日英同時通訳対応

■ プログラム

1. 主催者挨拶 山口 範雄（公）日本観光振興協会会長 本保 芳明 国連世界観光機関駐日事務所代表 2. 実況挨拶 タレフ・リファイ 氏 国連世界観光機関（UNWTO）事務局長 田村 明比古 氏 観光庁長官 3. 基調講演 海外におけるガストロノミーツーリズムの潮流 ヨランダ・ペルドモ 氏 国連世界観光機関（UNWTO） アフィリエイトメンバー部長 4. 調査報告 我が国のガストロノミーツーリズムに関する調査 宮崎 俊哉 氏 三豊総合研究所地域創生事業本部 地域づくり戦略グループ 観光立国実現支援チームリーダー	5. 基調・「調査を終えて」 久保 征一郎 氏 （株）ぐるなび代表取締役社長 久保 成人 氏 （公）日本観光振興協会理事長 （司会）見巻 陽一 氏 （一社）ONSEN・ガストロノミー ツーリズム推進機構理事長 6. パネルディスカッション 「ガストロノミーツーリズムで食文化を 守り・育て、そして地域を元気に」 【モデレーター】 小川 正人 氏 （株）ANA総合研究所取締役会長 【パネリスト】 荒井 正善 氏 奈良県知事 菅原 昭彦 氏 気仙沼商工会議所会頭 上野田 謙平 氏 天領酒造（株）代表取締役 ヨランダ・ペルドモ 氏 国連世界観光機関（UNWTO） アフィリエイトメンバー部長
--	--

＜お問い合わせ先＞
（公）日本観光振興協会 旅行振興部門（担当：杉野、中村）
TEL：03-6435-8334 FAX：03-6435-6921 ※お申込方法の詳細は、裏面をご覧ください

開催日：平成30年2月5日
場 所：東京（国連大学）

第1-2-(4)-③ UNWTOの活動に関する情報発信

4/13 世界銀行・観光実務者研修会合(立命館大学内)



11/3 島原フォーラム(長崎県・島原市)



2/28 JNTOインバウンドシンポジウム(大阪市)



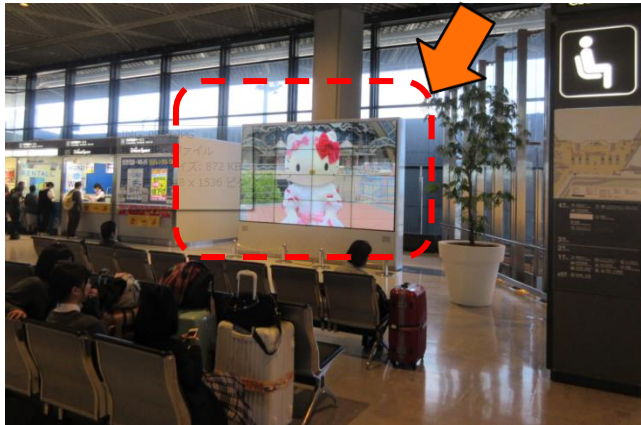
3/11～13 京都観光データウォーク(京都大学内)



第1-2-(4)-⑤ 観光国際年のプロモーション

ビデオ放映 《Travel , Enjoy ,Respect / ハローキティ(観光国際年特別大使に任命)》

成田空港ターミナル内



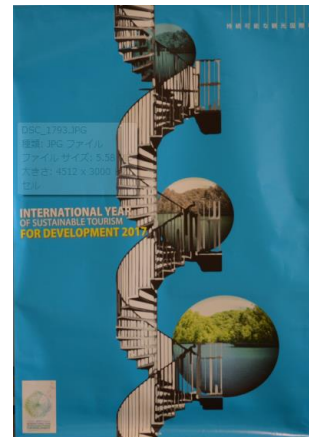
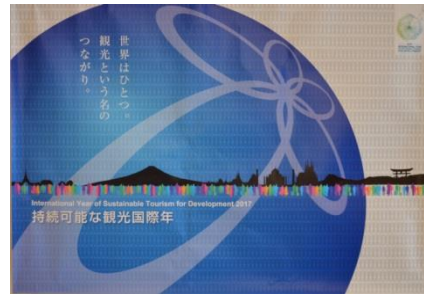
関西空港ターミナル内



全日空 機内(国内線・国際線)



二科展（観光国際年をテーマとしたポスター展入賞作品）



地球の歩き方 (ガイドブック / 広告スペース)



2017年度内に実施した事業

第1: 駐日事務所が実施するアジア太平洋地域（日本を含む）
における観光振興のための活動に対する支援事業

1. 学術的調査・研究支援事業

2. 観光交流促進支援事業

第2: 地方公共団体等が行う観光交流促進に関する宣伝活動等
に対する支援事業

